

【調査票3:回復期リハビリテーション病棟】

回復期リハビリテーション病棟を有する病院に勤務する病院薬剤師にお伺いします。

A-2 病院

A-2-1 回復期の病床に関する項目

全病棟での病床数()床

回復期リハビリテーション病棟 ()床

A-2-2 薬剤師の配置に関する項目

A-2-2-1: 2021年5月～6月(2ヶ月間)のうち、任意の1週間における

薬剤師数 常勤()人 非常勤()人

注) 非常勤職員の常勤換算については、1週間の通常勤務時間を基本とし、非常勤の勤務時間を常勤換算して、小数点第2位を四捨五入して回答してください

A-2-2-2: 2020年5月～6月(2ヶ月間)、任意の1週間における

回復期リハビリテーション病棟に関与する薬剤師の人数とのべ従事時間

回答例: 薬剤師1人が2時間、薬剤師1人が3.5時間従事している場合

→薬剤師数:(2)人 のべ従事時間:(5.5)時間/日

薬剤師数:()人 のべ従事時間:()時間/日

A-2-3 回復期リハビリテーション病棟での入退院時に保険薬局との患者情報等に関する連携はどの程度行っていますか

- ほとんど行っている(95%以上)
- かなり行っている(65～95%未満)
- 半分程度(35～65%未満)
- 若干行っている(5～35%未満)
- ほとんど行っていない(5%未満)

A-2-4 地域の多職種での情報連携を行っていますか

- はい
- いいえ

A-2-5 A-2-4で「はい」と回答された場合、どの職種と連携していますか(該当するものを全て選択してください)

- 医師
- 保険薬局薬剤師
- 訪問看護師
- ケアマネジャー
- ソーシャルワーカー
- その他(自由記載)

A-2-6 患者の「かかりつけ医」をどの程度把握していますか

- ほとんど把握している(95%以上)
- かなり把握している(65～95%未満)
- 半分程度(35～65%未満)
- 若干把握している(5～35%未満)
- ほとんど把握していない(5%未満)

A-2-7 患者の「かかりつけ薬局」をどの程度把握していますか

- ほとんど把握している(95%以上)
- かなり把握している(65~95%未満)
- 半分程度(35~65%未満)
- 若干把握している(5~35%未満)
- ほとんど把握していない(5%未満)

A-2-8 退院前カンファレンスへの参加

- ほとんど行っている(95%以上)
- かなり行っている(65~95%未満)
- 半分程度(35~65%未満)
- 若干行っている(5~35%未満)
- ほとんど行っていない(5%未満)

A-2-9 薬剤管理指導(算定に関わらず)

- ほとんど行っている(95%以上)
- かなり行っている(65~95%未満)
- 半分程度(35~65%未満)
- 若干行っている(5~35%未満)
- ほとんど行っていない(5%未満)

A-2-10 退院時服薬指導(算定に関わらず)

- ほとんど行っている(95%以上)
- かなり行っている(65~95%未満)
- 半分程度(35~65%未満)
- 若干行っている(5~35%未満)
- ほとんど行っていない(5%未満)

A-2-11 退院時サマリーの作成(算定に関わらず)

- ほとんど行っている(95%以上)
- かなり行っている(65~95%未満)
- 半分程度(35~65%未満)
- 若干行っている(5~35%未満)
- ほとんど行っていない(5%未満)

C-1 退院する患者について実際に薬局へ提供している情報にチェックを入れてください(該当するものを全て選択してください)

<項目 A>

- 1) 主病名
- 2) 既往歴
- 3) 禁忌薬
- 4) アレルギー歴・副作用歴
- 5) 患者背景(睡眠・排尿・排便の状況、ADL、認知度など)
- 6) 検査値(腎機能・肝機能など)
- 7) 服薬管理方法(お薬カレンダー)
- 8) 服薬方法(経口、経管など)
- 9) 調剤方法(一包化、粉碎、簡易懸濁 など)
- 10) 服薬状況・アドヒアランス
- 11) 一般用医薬品・健康食品の有無
- 12) 入院中に服用していた主な薬剤(内服・注射など)
- 13) 入院中に変更(追加・増量・中止・減量・休薬)された薬剤名
- 14) 入院中に変更(追加・増量・中止・減量・休薬)された薬剤の処方理由
- 15) 入院中の指導内容
- 16) 退院時処方内容
- 17) 退院時指導内容
- 18) 退院後に増量・減量・再開が必要な薬剤情報
- 19) 退院後に定期的な投薬が必要な薬剤情報
- 20) 退院後に定期的な検査が必要な薬剤情報
- 21) その他(自由記載)

C-2 入院した患者について実際に薬局から提供されたことがある情報にチェックを入れてください(該当するものを全て選択してください)

<項目 B>

- 1) 主病名
- 2) 既往歴
- 3) 禁忌薬
- 4) アレルギー歴・副作用歴
- 5) 患者背景(睡眠・排尿・排便の状況、ADL、認知度など)
- 6) 検査値(腎機能・肝機能など)
- 7) 服薬管理方法(お薬カレンダー)
- 8) 服薬方法(経口、経管など)
- 9) 調剤方法(一包化、粉碎、簡易懸濁 など)
- 10) 服薬状況・アドヒアランス
- 11) 一般用医薬品・健康食品の有無
- 12) 在宅療養中に服用していた主な薬剤(内服・注射など)
- 13) 在宅療養中に変更(追加・増量・中止・減量・休薬)された薬剤名
- 14) 在宅療養中に変更(追加・増量・中止・減量・休薬)された薬剤の処方理由
- 15) 在宅療養中の指導内容
- 16) 入院直近の処方内容
- 17) 入院直近の指導内容

- 18) 入院後に増量・減量・再開が必要な薬剤情報
- 19) 入院後に定期的な投薬が必要な薬剤情報
- 20) 入院後に定期的な検査が必要な薬剤情報
- 21) その他(自由記載)

C-3 入院が予定されている患者について薬局からの提供を希望する情報にチェックを入れてください(該当するものを全て選択してください)

<項目 B>

- 1) 主病名
- 2) 既往歴
- 3) 禁忌薬
- 4) アレルギー歴・副作用歴
- 5) 患者背景(睡眠・排尿・排便の状況、ADL、認知度など)
- 6) 検査値(腎機能・肝機能など)
- 7) 服薬管理方法(お薬カレンダー)
- 8) 服薬方法(経口、経管など)
- 9) 調剤方法(一包化、粉碎、簡易懸濁 など)
- 10) 服薬状況・アドヒアランス
- 11) 一般用医薬品・健康食品の有無
- 12) 在宅療養中に服用していた主な薬剤(内服・注射など)
- 13) 在宅療養中に変更(追加・増量・中止・減量・休薬)された薬剤名
- 14) 在宅療養中に変更(追加・増量・中止・減量・休薬)された薬剤の処方理由
- 15) 在宅療養中の指導内容
- 16) 入院直近の処方内容
- 17) 入院直近の指導内容
- 18) 入院後に増量・減量・再開が必要な薬剤情報
- 19) 入院後に定期的な投薬が必要な薬剤情報
- 20) 入院後に定期的な検査が必要な薬剤情報
- 21) その他(自由記載)

C-4 入院してくる患者で実際にどのような問題が多いですか(該当するものを全て選択してください)

- P1 副作用
患者が薬物有害事象に苦しんでいる
- P2 薬物選択の問題
患者が自分の病気および/または症状とは間違った薬物を使用または使用しようとしている(または薬を使用していない)
- P3 投与の問題
患者が必要とする薬物の量よりも多いまたは少ない
- P4 薬物使用の問題
患者が誤った用法で薬物を使用している
- P5 相互作用→ある・ない
既知または潜在的な薬物-薬物間または薬物-食物間相互作用がある
- P6 その他(自由記載)

C-5 薬局との連携について実際に行っている取り組みがありましたらご記入ください
(記述)